



2024 年度
第 6 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1
スポーツ有望株？
夢を見る木もない

2
韓国、総メダル 17 個で
江原 2024
総合 3 位獲得・・・
前大会より 9 つ増加



3
卓球のシン・ユビンが
第 34 回允谷、金ウンヨン
韓国女性体育大賞を
受賞



4
権益委
体育団体懲戒決定遅延
3 カ月以内に通知
しなければならない



5
フェンシング皇帝
オ・サンウク
進路メンターとして
学生選手の成長を支援



< 体育市民連帶定期總會のお知らせ >

尊敬する体育市民連帶の会員さん、そして大韓民国のスポーツの変化と革新を夢見る市民の皆さん、体育市民はスポーツがあるところ全ての人の人権が当然の国、万人が楽しむスポーツの新しい世の中のために熱心に歩んでいます。いつも激励と応援に感謝し、より発展的な未来のための意味ある席に皆さんを招待します。

2024 体育市民連帶定期總會

日時：2024 年 2 月 17 日（土）午後 4 時

場所：体育市民連帶 瑞草事務所（ヒョリョン路 230、407 号）

式順：1 部：定期總會

- －事業及び会計報告
- －監査報告
- －2024 年事業計画
- －役員選出及び執行委承認など

2 部：体育市民賞授賞式

01 金ヒョンス元国家人権委員会スポーツ人権特別調査団長 2024. 02. 02 [キム・ヒョンスコラム] スポーツ有望株？ 夢を見る木もない

アジアカップサッカー大会が真っ最中だ。国民は最近、韓国代表チームの技量が「アジアの盟主」という地位のように圧倒的ではなく失望しながらも、サッカー特有の劇的な勝負を通じてその魅力から抜け出せずにいる。国民が考える代表チームの地位は、外国プロリーグでも優れた競技力を誇示する選手を保有しているという事実の裏に、彼らの年俸が天文学的な金額だという点がある。孫フンミンや金ミンジェ選手一人が相手チームの選手全体の年俸をはるかに上回るという事実は、過去の韓国代表チームがいつも受けていた（？）状況の反転であり、刺激的でさえある。そのためか、第 2 の孫フンミン、金ミンジェを夢見る若い友人たちは、猫も杓子も町内のサッカークラブに加入して「もしかして」という夢を育てている。

しかし、サッカーを除いた他の種目を見ると、凄惨だ。田舎の学校では生徒がおらず、次々と閉校するように、長い伝統の学校運動部が選手がいなくて閉鎖している状況だ。このような状況について、体育団体や体育専門家らは、学齢人口の急激な減少によるやむを得ない現象だと診断する。そのため、そのままにしておけば国際スポーツ競争力が弱まる、運動部を新規に設立すれば運営費を支援する、国家的な支援策作りが切実だなど、お金と関連した話が出るだけで、これといった手は見当たらないようだ。

体育界が運動部解体の原因を学齢人口の減少だけで探すなら、それは完全な解決策を作り出すことができない。内部の問題は無視することだからだ。まず、筆者から自分の子供を運動部にやらせる気がない。子供が体育教科優秀賞もよく受けてくるほど運動が好きで、また上手なうえに、望んだこともある。しかも、専攻者として運動が与える利点について誰よりもよく知っている。普段、子供が運動を熱心にしてほしいという願いがあるので、軽いスポーツクラブ程度は積極的に推奨するが、エリート運動部をさせない理由は完全に内部にある。学習権の剥奪、選手としての不透明な未来、信頼できない指導者、入試、就職などとの関連性など、子供を運動部に送るのに不安な要素が数え切れないからだ。こんな考えは筆者だけのものだろうか？

教育部で毎年調査する小学生の将来希望1位は、数年間運動選手が占めている。需要がないわけではないということだ。ところが、その子が運動選手のような真似でもすれば、勉強は自然に優先順位から押し出されることを経験することになる。どの親が喜ぶだろうか？最近の親たちが子供の未来について多くの情報を入手し、積極的に判断していくというとは言うまでもない。まだ人生の選択肢があふれる子供たちに運動部という袋小路に追い込むわけがないということだ。

スポーツ有望株を育てる学校運動部に夢を見る木さえない恐ろしい状況で、再び有望株が育つようにするには運動部が「エリート有望株養成のゆりかご」という声から止めなければならない。「エリート」という少数精鋭の運動機械を作る戦略は旧時代的であるだけでなく、その過酷なシステムに入りたい資源も残っていない。学校運動部は自発性を前提に多様な水準で競争できる条件が作られなければならない、その競争は熾烈だが、教育的な目的から出発しなければならない。学業を優先に、自分の水準に合う運動部で学校内外の競争を経験し、勝利と敗北の教訓を教育的に完全に受け入れることができる条件なら、誰も運動部をためらう理由はない。また、国際的な競争力を持つレベルの高い友人たちは、まるで国威宣揚のすべての責任を負ったかのように、支援と期待を独り占めしてはならない。彼らは自然に低い水準で競争する友人たちの目標にならなければならない、それにふさわしい支援で育てられなければならない。

現場で運動の良い点が浮き彫りになり、今の慣行による副作用がなくなれば、その後で「学生」であり「選手」は、選手として成功しようが、そうでなくても、スポーツの良い点だけを記憶し、一生スポーツを楽しむ健康な市民として生まれ変わることができるだろう。国民はスポーツが良い文化だということを知っているので、学業を考慮してサッカー教室、テコンドー道場などに通う。甚だしくは自費をかけてだ。学校の運動部システムが多様な水準の運動部で作られているなら、参加しない理由がないのではないかという話だ。

そして加えて、体育界は支援が足りない、エリートシステムが崩壊するなどのように危機を助長し、支援だけを望む断片的な診断ももうやめる時になった。どうせ学齢人口がなくてエリートスポーツが崩壊しているのに、ありもしないエリート選手養成に何の支援が必要だというのか？もはやその支援は、エリート体育システムから脱皮し、みんなのためのスポーツを通じて底辺を広げていくことに使われなければならない。体育界もこれほどの自力救済的な改革もなく、支援だけを望む根性も捨てる時になった。

出典：<https://www.newsmin.co.kr/news/98897/>

02 スポーツトゥデイ 2024.02.02

韓国、総メダル17個で江原2024総合3位獲得・・・前大会より9つ増加



2024 江原冬季青少年オリンピック大会の大韓民国選手団（李ヒョクヨル団長）は、金メダル7個、銀メダル6個、銅メダル4個を獲得し、総合順位3位で大会を終えた。

今大会に参加した14の細部種目の153人の大韓民国選手団は、スケートで3個、ボブスレーで1個、スキーで3個の金メダルを獲得し、計17個のメダルを記録し、成功裏に大会を終えた。

大韓民国の選手団は、以前の2020ローザンヌ冬季青少年オリンピックまでショートトラックやフィギュアなど氷上種目に偏重され、計8個のメダルを獲得したが、今回の2024江原冬季青少年オリンピックではショートトラックはもちろん、スピードとボブスレー、スキー、スノーボード、女子アイスホッケーなど多様な種目で計17個の貴重なメダルを獲得し善戦を繰り広げた。

大韓体育会（李ギフン会長）は今大会に参加した選手たちが最上のコンディションを維持できるように医療チームを運営し、事前に安全、人権、ドーピング関連教育を実施して選手団が健康で安全な中で大会を行えるように徹底的に準備してきた。特に、入村選手や指導者に大会マスコットをプレゼントし、大会期間中に誕生日を迎えた選手たちに思い出を作れるようにケーキを渡すなど、選手たちが気楽な気持ちで無事に大会を無事に終わられるように物心両面で支援した。

一方、大韓民国選手団は2月1日、最後の競技日程を終えた後、江陵選手村およびオリンピックパークで解団式と閉会式（騎手：フィギュアキム・ヒョンギョム選手）参加を最後にアジアで初めて開催された2024冬季青少年オリンピック大会14日間のすべての日程を終えた。

出典：<https://www.stoo.com/article.php?aid=91565623016>

03 連合ニュース 2024.02.01

卓球のシン・ユビンが第34回^{ユンゴク}允谷・金ウンヨン韓国女性体育大賞を受賞



昨年、杭州アジア大会卓球女子ダブルスで金メダルを取ったシン・ユビンが、第34回允谷・金ウンヨン女性体育大賞の大賞受賞者に選ばれた。

女性体育大賞授賞式組織委員会は1日、「今年の大賞受賞者にシン・ユビンを選定し、最優秀選手と特別功労賞など部門別受賞者を確定した」と発表した。

シン・ユビンは昨年、杭州アジア大会にチョン・ジヒと同じ組で出場し、韓国卓球に21年ぶりにアジア大会の金メダルをプレゼントした。

シン・ユビンは、允谷・金ウンヨン女性体育大賞で、2015年に有望株賞、2021年に新人賞を受賞し、今回は大賞まで受賞することになった。

最優秀選手には重量挙げのパク・ヘジョンが選ばれ、優秀賞の受賞者はヨ・ソジョン（体操）、イ・ダソム（テコンドー）、キム・ミンソン（スケート）に決まった。

今年のパリ五輪で国際オリンピック委員会（IOC）委員に挑戦する朴仁妃は、特別功労賞を受賞する。授賞式は6日午後、ソウル龍山区ドラゴンシティのグランド・マーキュールホテルで行われる。

尹谷・金ウンヨン大韓民国女性体育大賞は、故金ウンヨン IOC 副委員長が 1988 年ソウル五輪の成功的な開催と韓国女性体育発展のために 1989 年に制定した韓国初の女性スポーツ授賞だ。

[第 34 回ユンゴク・金ウンヨン 大韓民国女性体育大賞受賞者]

- ▲ 大賞=シン・ユビン(卓球)
- ▲ 最優秀選手賞=朴ヘジョン (重量挙げ)
- ▲ 優秀賞=ヨ・ソジョン (体操) イ・ダソム (テコンドー) キム・ミンソン (スケート)
- ▲ 特別功労賞=朴仁妃 (パク・インビ、ゴルフ) ▲功労賞=ファン・ジョンヒ (野球)
- ▲ 指導者賞=ソン・ジヒョン (バドミントン)
- ▲ 新人賞=金ミンジュ (柔道)、金スンウォン (水泳)、金イエリム (スケルトン)、金テヒ (陸上)、オ・イエジン (射撃)
- ▲ 有望株賞=ソ・ギョリム (ゴルフ)、ソン・イエジ (陸上/テコンドー)、シン・スミン (近代 5 種)、ウ・ソミン (アーチェリー)、イ・ユンジ (水泳)、チェ・シヨン (ボブスレー)、ホン・ヒョリム (テコンドー)

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20240201080100007?input=1195m>

04 連合ニュース 2024.02.05

権益委「民間体育団体懲戒決定遅延」3 ヶ月以内に通知しなければならない



国民権益委員会は 5 日、民間体育団体がスポーツ倫理センターから懲戒を要求されれば、その結果を 3 ヶ月以内に通知するよう文化体育観光部、大韓体育会などに勧告したと明らかにした。

文体部傘下のスポーツ倫理センターは、スポーツ分野の人権侵害と不正事件の申告を受ければ、処理後、該当民間体育団体に懲戒を要求する。

しかし、体育団体はスポーツ倫理センターの懲戒要求に符合する処分をせず、軽微に処分したり懲戒決定を遅延していると権益委は指摘した。

2020 年から 3 年間、懲戒要求 224 件のうち、体育団体が懲戒結果を通知した件数は 99 件であり、このうち 9 件は結果が通知されるまで 1 年以上かかった。 26 件の懲戒処分の結果は通知されなかった

国民権益委員会は「公正なスポーツ環境を造成し、懲戒処分が遅れたり不適正に軽減されることを防止するために懲戒要求結果を 3 ヶ月以内に通知するよう勧告した」とし、「根拠資料も提出するようにした」と明らかにした。

また、民間体育団体の傘下団体役員の不正に対する懲戒事件は、同じ傘下団体のスポーツ公正委員会などが管轄しており、公正な懲戒手続きの進行が難しかったと権益委は指摘した。

このため、権益委は民間体育団体の傘下団体役員懲戒事件は、該当体育団体の直属上級団体が管轄するよう勧告した。

合わせて採用業務の不正行為者に対する懲戒軽減を禁止する規定を置いて運用するよう勧告した。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20240205057900001?input=1195m>

05 デイリー韓国 2024.01.31

フェンシング皇帝オ・サンウク 「進路メンターの人権守護者」として学生選手の成長を支援



大田東部教育支援庁は学生選手たちの多様な進路模索と人権親和的学校運動部造成のためにフェンシング国家代表オ・サンウク選手を「学校運動部進路メンター・人権守護者」に委嘱したと 31 日明らかにした。

東部教育支援庁は 2021 年から「進路メンター・人権守護者」として学生選手の進路設計と人権保護のために格別な愛情と善行を着実に見せてきたオ選手が先月 31 日付で委嘱期間が終了したことにより、この日再委嘱した。

オ選手は今年のパリ五輪に備えた国家代表練習への参加など、忙しい日程の中でも学校運動部の進路メンタリング、ワンポイントレッスンなどと共に学生選手たちの人性・知性・感性を備える成長の時間を継続する予定だ。

さらに、東部教育支援庁はフェンシング有望株の競技力向上と安全のため、大田に今年の運動部指導者を増員配置し、同日の委嘱式で学校関係者に訓練支援金として 300 万ウォンを渡した。

この日の委嘱式に参加したオ選手は「この間の経験と知識を土台に学生選手と疎通し進路悩みなどを共に分かち合い人権が花咲く幸せな学校運動部を作るために努力する」と所感を明らかにした。

東部教育支援庁のチェ・ジェモ教育長は「地域スポーツ人材と学生選手たちの出会いの場を拡大し、国家代表を夢見る学生選手たちの潜在力を育て、人権親和的学校運動部文化造成に最善を尽くす」と話した。

出典：<https://daily.hankooki.com/news/articleView.html?idxno=1047089>

06 週間スポーツニュース

「射撃皇帝」陳鍾午氏迎え入れ…韓ドンフン「文化体育界をリードする方」

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20240205062000001?input=1195m>

ソウル市、生活体育需要を満たすための「学校体育施設開放事業」を支援

https://tbs.seoul.kr/news/newsView.do?typ_800=7&idx_800=3515630&seq_800=20508331

巨済市、公共体育施設インフラ拡充へ冬季転地訓練メッカ造成

<https://www.news1.kr/articles/5311939>

烏山市体育会・烏山韓国病院・障害者体育会「スポーツ競技医療支援」協約

https://www.pressian.com/pages/articles/2024020512393607175?utm_source=naver&utm_medium=search

旧正月の連休、世宗体育複合施設の未開放…湖・中央公園は運営

<https://www.daejonilbo.com/news/articleView.html?idxno=2112096>

坡州市「2024 京畿道体育大会」ボランティア 2 千人募集

<https://www.news1.kr/articles/5311937>

都市鉄道 2 号線龍山駅に青少年複合体育施設が造成される

<https://www.imaeil.com/page/view/2024020511260358027>

世宗市、公共体育施設「シニア健康守り」募集

<https://www.enewstoday.co.kr/news/articleView.html?idxno=2087108>

大田市内の生活体育指導者処遇改善の声

<https://www.joongdo.co.kr/web/view.php?key=20240204010000884>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>